



西尾 寿博 議員

# 集落は維持できるか？

町長

## 地域の自主的な活動を促す



集落はどうなる

【西尾】 少子高齢化のなか、大山町の167集落の20年後の姿はどんなものだろうか。65歳以上の高齢者が5割を超える集落を限界集落と呼んでいる。集落機能の維持に支障をきたすといわれる限界集落だが、人口が3割減ることと相当増えると思える。

流動人口や定住人口は増やせたか。

【町長】 観光入り込み数は微増で、平成25年には106万人だった。

人口は、平成17年に1万9521人だったが、

平成26年1月時点で、2113人減少した。

【西尾】 集落に住んでいながら、自治会に入っていない世帯は何か。

【町長】 配布物を直送している数は約220世帯ある。

【西尾】 校区ごとに財源を持たせて事業をさせる地域分権制度をつくってはどうか。

【町長】 今後も地域に一定の財政支援を行い、行政が担っている事業も可能な範囲で担っていた。

# 大山診療所の今後は？

町長

## 持続的な経営が

## 可能か検討する

のか。

【町長】 それらを受けとめ、事業執行に反映

させていかなければならない。

【町長】 医療圏域の人口動向や住民ニーズを把握しつつ、鳥取大学医学部と連携した持続的な診療所の経営が可能か検討する。

【西尾】 町民の声、議会の意見はどのように感じ、受けとめている



どうなる大山診療所